

近世の公家社会と京都

集住のかたちと都市社会

登谷伸宏(とや・のぶひろ)著

A5判・390頁／定価：本体8,000円(税別) ISBN978-4-7842-1795-3

近世都市京都の大きな特徴は、朝廷・公家社会の存在にある。

本書は、公家町の形成・変容過程の解明を通じて、公家町を中心とした京都の都市空間の特質を明らかにするものである。あわせて、都市における公家の集住・居住形態、および町方社会との関係を検討し、近世京都がいかなる都市社会構造を形成していたのかを論じる。

【2015年3月刊行予定】

序章 近世都市京都研究における公家社会の位置

◎予定内容

目次◎

第一部 公家町の形成と変容

- 第一章 近世における公家町の形成について
- 第二章 陣中から惣門之内へ——公家町の成立とその空間的特質——
- 第三章 十七世紀後半における公家の集住形態について
——近世以降創立・再興した公家を中心として——
- 第四章 元禄・宝永期における公家の集住形態と幕府の対応について
- 第五章 宝永の大火と公家町の再編
- 第六章 宝永の大火と公家の集住形態の変容について

第二部 公家と町

- 第一章 堂上公家の町人地における屋敷地集積過程について
——久世家を事例として——
- 補論 町人地における公家の屋敷地買得について
- 第二章 町人地における久世家の居住形態について
- 第三章 幕末期における地下官人真継家の居住形態について
- 第四章 御産所と都市社会——霊元天皇の後宮を中心として——
- 結章 近世都市京都と公家社会



登谷伸宏(とや・のぶひろ)

1974年京都市生。

2006年京都大学大学院工学研究科生活空間学専攻博士後期課程修了。京都大学博士(工学)。

2012年 京都橘大学文学部歴史遺産学科助教。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)		
冊数	冊	近世の公家社会と京都		本体8,000円(税別) ISBN978-4-7842-1795-3		
お名前			tel			
			e-mail			
ご住所	〒					
送本方法	☐ 書店経由(このちらしを書店にお渡し下さい) ☐ 代引(書籍代+送料400円を現品と引き替えにお支払い)					

本書HPのQRコード

書店番線印

近世の禁裏と都市空間

岸泰子著

都市を基盤として存在した禁裏、禁裏によって形成・維持された都市、という両側面からなる近世京都の特性を中世・近代への展開も視野に入れて明らかにする。さらに、都市・建築史的観点から近世の天皇・王権のありかたにも注目し、天皇が表出する場の特性や天皇と民衆の関係性などにも言及する。

▶A5判・320頁／本体 6,400円(税別)

ISBN978-4-7842-1740-3

中世京都の空間構造と礼節体系

桃崎有一郎著

貴人と牛車ですれ違う場合の正しい作法は？ 参内するときはどこで牛車を降りればよいのか？ 中世の京都で実践された礼節体系の考察を通じて、中世京都の空間構造を明らかにし、室町殿権力の形成・展開過程をも論ずる。

▶A5判・584頁／本体 7,200円(税別)

ISBN978-4-7842-1502-7

風俗絵画の文化学Ⅲ 瞬時をうつすフィロソフィー

松本郁代・出光佐千子・彬子女王編

風俗画の歴史的な実証に留まらず、描かれた事象に織り交ざる虚実を読み解くことで、鑑賞されることを意識した美的な演出や、儀礼や慣習から生じた絵の上での約束事や仕掛け、信仰のイメージや地域に根ざした特殊な世界観などといった、人間の営為そのものの原理を探究する、哲学的思考(フィロソフィー)へと解釈を広げた13篇。

▶A5判・434頁／本体 7,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1775-5

*中世都市共同体の研究

小西瑞恵著

思文閣史学叢書

陸路水路の要衝大山崎を分析し、国家権力と密接な関係をもつ商業的共同体という観点から論じた大山崎研究をはじめ、古代からの港湾都市である堺都市論、自治都市としての成立過程と内部構造について公界と会合に着目し新たな都市像を示した大湊研究、さらに戦後の中世史を代表する都市論への見解をあきらかにした論考を収める。

▶A5判・340頁／本体 6,400円(税別)

ISBN4-7842-1026-1

近世京都の都市と民衆

鎌田道隆著

思文閣史学叢書

著者が京都市史編さん所時代におこなった京都市内全域の旧家・会所・小社寺などの民間史料調査をもとに、戦国から幕末維新までの京都都市論を展開する。【内容】戦国期における市民の自治について／京都改造／初期幕政における京都と江戸／慶長・元和期における政治と民衆／町の成立と町規制／京都における十人組・五人組の再検討 他

▶A5判・390頁／本体 7,800円(税別)

ISBN4-7842-1034-2

大坂城と城下町

渡辺武館長退職記念論集刊行会編

前大坂城天守閣館長渡辺武氏の退職を記念した22名による論文集。豊臣大坂城時代はもちろん、難波宮、大坂(石山)本願寺から現代にいたるまで、多彩な視角から大坂城と都市大阪を考察する。

【内容】秀吉の大坂城拡張工事について／考古学から見た船場の成立と展開／難波京・瀬戸内と京のはじまり 他

▶A5判・436頁／本体 8,800円(税別)

ISBN4-7842-1062-8

みやこの近代

丸山宏・伊從勉・高木博志編

研究分野の相違を問わず、また、時流の政治や論調に動ずることなく、「近代の歴史都市としての京都」についての基本的な諸問題を多角的に論じようと開かれた京都大学人文科学研究所「近代京都研究会」。そこで論じられたさまざまな分野の具体的な主題をもとに、近代現代の京都の根本問題を見通す視座を形成しようとする試みの85篇。

▶A5判・268頁／本体 2,600円(税別)

ISBN978-4-7842-1378-8

近世妙心寺建築の研究

平井俊行著

京都府教育庁文化財保護課の修理技術者として、妙心寺建築物の保存修理に携わるなかで積みかさねてきた研究をまとめた一書。臨済宗妙心寺派本山の個々の建築について、本山や塔頭に残る中世～近世の古文書や棟札の解説、実測のみならず、それぞれの建造物の行事での利用状況まで分析し、近世妙心寺建築成立の意義を検討する。

▶B5判・376頁／本体 9,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1689-5

京都中世都市史研究

高橋康夫著

思文閣史学叢書

中世京都の都市空間形成過程における種々の問題を、辻子の発生と展開、平安京北辺・後小松院仙洞御所跡敷地・土御門四丁町等の再開発、あるいは六町の成立と構造などの検討を通してさぐり、今日の歴史的都市の保全修景計画をも射程に入れて中世都市像を追及した、気鋭の建築史家ならではの書。巻末に人名・事項索引を付す。

▶A5判・540頁／本体 8,800円(税別)

ISBN4-7842-0318-4

*後鳥羽院政の展開と儀礼

谷昇著

後鳥羽天皇(上皇)が課せられた政治課題とそれに対する対応＝政策理念が、宮中の儀式・行事である公事と修法・寺社参詣参籠等宗教儀礼の中に具現しているとする視点から、それらが果たした政治的役割を個別具体的に検証することにより、多面的な視点に立った後鳥羽理解、政治史叙述を企図したものである。

▶A5判・328頁／本体 6,300円(税別)

ISBN978-4-7842-1536-2

中世寺院社会と民衆 衆徒と馬借・神人・河原者

下坂守著

中世において比叡山延暦寺が果たした歴史的役割を、同寺の活動実態とその支配下にあった京・近江の民衆との関係を中心に考察する。山門の「惣寺」がどのような組織と機能をもつものであったかを明らかにし、足利義満以降の武家政権との関係や、近江坂本の在地人と日吉社の大津神人が山門の活動にどのような影響を与えたかを論じる。

▶A5判・432頁／本体 7,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1779-3

*京都の都市共同体と権力

仁木宏著

思文閣史学叢書

中世京都の都市構造モデルを前提に、その変容のなかから町(ちょう)の成立を読み解く。自力救済社会における武家と都市民の対峙が、やがて公儀を創出し、都市共同体を確立させることを明らかにする。中近世移行期における自治、共同体、権力の葛藤を正面から見すえ、都市の本質を具体的に、理論的に分析した一書。

▶A5判・332頁／本体 6,300円(税別)

ISBN978-4-7842-1518-8

近世都市和歌山の研究

三尾功著

御三家紀州徳川家の城下町として発展した近世都市和歌山の城下の変遷を、長年和歌山市史編纂に携わってきた著者が豊富な史料に基づき考証する。【内容】創建和歌山城について／和歌山城の構造／和歌山城再建工事について／城下町和歌山の成立と拡大／町割にみる都市計画／武家町と町人町について／和歌山城下絵図考 他

▶A5判・376頁／本体 7,000円(税別)

ISBN4-7842-0825-9

*京の鴨川と橋 その歴史と生活

門脇禎二・朝尾直弘編

歴史都市京都のシンボルの存在である鴨川とそこに架かる橋について、平安京以前から昭和まで、各時代の様子を具体的に明らかにし、人々の暮らしの中でどのような意味を持っていたかを探る。

【内容】賀茂川と平安京／橋と寺社・関所の修造事業／四条・五条の橋軸進と一条戻橋の橋寺／公儀橋から町衆の橋まで 他

▶A5判・250頁／本体 2,200円(税別)

ISBN4-7842-1082-2

近代京都研究

丸山宏・伊從勉・高木博志編

歴史都市・京都は、近代に大きく変わったまちであった。近代の京都には研究対象になる豊富な素材が無尽蔵にある。本書は、京都という都市をどのように相対化できるのか、普遍性と特殊性を射程に入れながら、近代史を中心に分野を超えた研究者たちが多数参加し切磋琢磨した京都大学人文科学研究所・共同研究「近代京都研究」の成果。

▶A5判・628頁／本体 9,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1413-6

*建築史論聚

中村昌生先生喜寿記念刊行会編

日本建築の歴史的伝統を深く把握してこそ、新しい時代の建築を創造できるとした建築史学の泰斗・中村昌生氏(京都工芸繊維大学名誉教授)の喜寿を記念し、薫陶を受け研鑽を重ねてきた研究者たちがオリジナル論文を持ち寄る。寺社建築／茶室／建築生産史・都市史／近代建築についての15篇。

▶A5判・590頁／本体 9,000円(税別)

ISBN4-7842-1202-7

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。